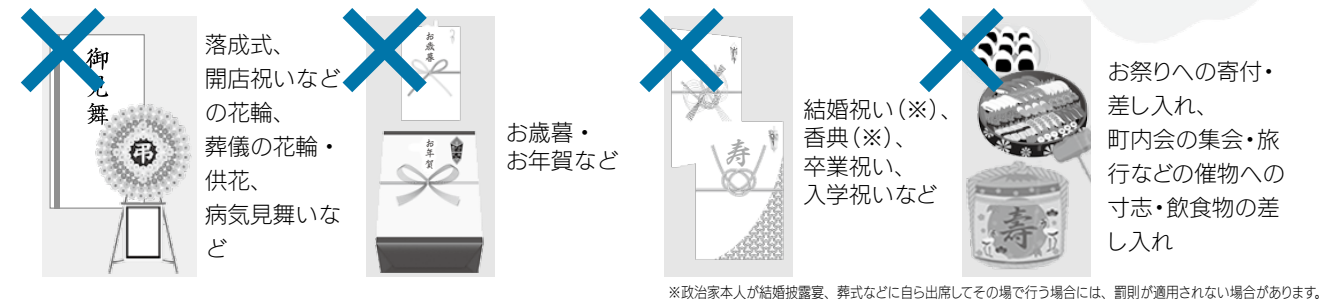


「三ない運動」をご存じですか？

政治家の寄付は禁止（贈らない）！政治家の寄付を求めない！受け取らない！

政治家の寄付禁止の対象例



※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

次の行為が禁止されています

- 1 政治家の寄付の禁止**
政治家が選挙区内にある者に対して寄付をすることは、その時期や名義のいかんに関わらず、罰則をもって禁止されています。また、政治家以外の者が政治家の名義の寄付をすることも罰則をもって禁止されています。
- 2 政治家に対する寄付の勧誘・要求の禁止**
政治家に対して寄付をするよう勧誘や要求をすることも禁止されています。政治家を威迫して、あるいは政治家の当選または被選挙権を失わせる目的で勧誘や要求をするなど処罰されます。政治家名義の寄付を求めることも禁止されており、威迫して求めると処罰されます。
- 3 政治家の関係団体の寄付の禁止**
政治家が役員や構成員である団体や会社が、選挙区内にある者に対して、政治家の氏名を表示したり、氏名が類推されるような方法で寄付をすることは禁止されており、選挙に関して寄付をすると処罰されます。
- 4 政治家の後援団体の寄付の禁止**
政治家の後援団体（いわゆる後援会）が、選挙区内にある者に対して、後援団体の設立目的により行われる行事や事業に関する寄付以外の寄付をすると、その時期や名義のいかんに関わらず処罰されます。

その他、禁止されている行為
●政治家が選挙区内にある者に対して、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞いなどのあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。
●政治家や政治家の後援団体（いわゆる後援会）が、選挙区内にある者に対して、主としてあいさつを目的とする有料の広告を新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットなどに出すと処罰されます。

総務省HP

（なるほど選挙「寄付の禁止」）

http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.html

※詳細はお近くの選挙管理委員会までお問い合わせください。

広報誌「総務省」（2018年12月号）より抜粋

始めてみよう！「お茶の間筋トレ」～vol.9～

「調整の体操」

調整の体操は、筋肉深層部から骨を動かすことで体の歪みやくせを正しくしていく体操のことで、

A)肩甲骨 B)背骨 C)受け身 D)骨盤の4つに分かれます。

今月もB)背骨の体操を紹介します。

※四つん這いの姿勢で行います。 ※「 」は、声を出しながら（呼吸を吐きながら）動きます。

①上下

手は肩幅、脚は腰幅に床に着き、四つん這いになり、へそを見るようにあごを引き、背骨を引き上げます。「ニャン」肘を伸ばしたままお腹を下げ、顔を上げます。「ワ～ン」

②左右

顔とお尻を右へ同方向に動かし、尻尾を見ます。「コケッコー」顔とお尻を左へ同方向に動かし、尻尾を見ます。「コケッコー」※2回ずつ繰り返します。



未来に向かって輝け！

我が町のがんばる企業！

～ 和 水 町 企 業 等 懇 話 会 企 業 訪 問 ～

株式会社果実堂 和水開発室

（和水町板楠）

我が町の
企業の魅力を
私がお届けします！



まちづくり推進課
担当 ● 嶋田真吾

和水町企業等懇話会は、町内企業の繁栄と町の振興を目指すことを目的として設立し、現在23社の会員企業で加入様々な交流活動を行っています。今回は、会員企業株式会社果実堂和水開発室を訪問しました！

旧緑小学校跡地を活動拠点に 栄養価抜群のベビーリーフ栽培

株式会社果実堂（本社・益城町）は、国内最大規模のベビーリーフ事業を手がける企業で、平成27年から旧緑小学校の跡地に活動拠点となる事務所機能（和水開発室）を置き、町内の各圃場でベビーリーフの栽培を展開しています。「ベビーリーフってどんな野菜だろう？」と思う方もいらっしゃると思いますが、実は、発芽して10日～30日以内の野菜の「幼葉」の総称なのです。ミズナ、ルッコラ、ビートなど種類も豊富で、数種類をミックスしてサラダなどで食べます。「それぞれの葉っぱが個性豊かで、ミネラルをたくさん含み、栄養価も抜群です」と笑顔でベビーリーフの説明をしてくださるのが、農場長の二宮新哉さんです。早朝の事務所内には、元気なスタッフの皆さんが勢ぞろい。ミーティングの後、早速車に乗込み、収穫作業へ出発です。

最初は苦勞の連続だったが 徐々に生産規模を拡大！

スタッフの皆さんに同行し、山十町地区の圃場に到着。ハウス内に足をいれると、そこには色鮮やかなベビーリーフが畑いっぱい広がっています。「最初にここで栽培を始めたころは石がたくさん出たり、水管理などで苦勞の連続でした」と二宮さん。現在では、竜門地区や中原地区でも土地を借り受けて、町内で年間約80トン収穫するまでに拡大されました。そして、ハウス内で熱心に仕事に打ち込んでおられる若手スタッフを発見。三加和地区出身の牛島大智さんです。果実堂では栽培技術を磨くために、リーダーによる和水農場への指導や、和水平から本社への研修も繰り返し行われています。全国的にも農家の高齢化等で遊休地が増えるなか、我が町の農業がもっと元気になるよう努力されています。株式会社果実堂の今後の活躍が楽しみです。株式会社（文責）まちづくり推進課 嶋田



①果実堂和水開発室のスタッフの皆さん ②旧緑小学校の跡地活用について町と協定を結び、一部が事務所・倉庫などに活用されている。 ③山十町地区のハウス内に栽培されているベビーリーフ ④栄養価が高く種類も豊富なベビーリーフ関連商品のラインナップ。主に関東・関西のスーパーや百貨店などで販売されている。



株式会社果実堂

（本社）熊本県上益城郡益城町田原1155-5 熊本テクノリサーチパーク内
（和水開発室）熊本県玉名郡和水町板楠2982-1



株式会社果実堂 和水開発室

農場長 二宮新哉さん（写真左）
うしじま 牛島大智さん（写真右）